

2012
vol.51
no.2

写真測量とリモートセンシング

目 次

〈巻 頭 言〉	マルチプラットフォームの活用による防災情報戦略	小川紀一郎	81
〈カメラアイ〉	斜め航空レーザ計測システムによる急崖斜面部の 詳細状況把握について	横溝和則, 佐藤崇倫, 中野一也	82
〈原 著 論 文〉	積算を目的としたしきい値の自動選定法	東 健太, 新井康平	84
〈原 著 論 文〉	ALOS/PALSAR 干渉画像による 秋田県東成瀬地区地すべりのモニタリング	岡谷隆基, 佐藤 浩, 中埜貴元, 小荒井衛	95
〈研 究 速 報〉	高密度 DEM からアイリスフィルタを用いて抽出した点と 浸水区域の比較	平岡 透, 亀野辰三, 真下和彦, 横田宏行	103
〈講 座〉	バンドル法 第二回 バンドル法と空中写真測量の歴史	那須 充	108
〈活 動 報 告〉	航測用テストフィールドの改測および改正計算について ーテストフィールド測量成果 (Ver. 3.0) の提供開始ー		121
〈文 献 抄 録〉	いざ実践! 森林境界明確化 問題のとらえ方と解決の仕方	松岡真如	123
〈文 献 抄 録〉	GeoWeb and crisis management: issues and perspectives of volunteered geographic information	岸 浩稔	124
〈会のうごき〉			126
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉			127

表紙説明: 表紙は端島 (通称軍艦島) を 3Dレーザスキャナで計測したものである。軍艦島は、長崎半島の西方海上にある面積6.3 ha の小島で、かつては海底炭鉱によって栄え東京以上の人口密度を有していたが、1974年の閉山以後無人島となった。大正から昭和の各時代を反映した鉄筋コンクリート構造物が残存し、産業遺産となっている。長崎大学インフラ長寿命化センター (松田浩センター長) は「軍艦島の鉄筋コンクリート造高層建物群の環境劣化調査と安全性評価に関する研究」を実施しており、3Dレーザスキャナ (Riegl VZ-400) を用い計25箇所から計測を行った。そこに3D点群を球体表示することで構造形状がより把握しやすくなるを考え、球体表示ビューワ「Macaron (ビジュアルツール㈱)」で描画した結果、3DCADでモデリングしたものと同等に詳細部材までが表示可能であることが確認できた。(使用機器: RIEGL社製 VZ-400)

編集委員

委員長	近津博文 (東京電機大学)
委員	五十嵐保 (リモート・センシング技術センター)
	大野裕幸 (国土地理院)
	織田和夫 (アジア航測(株))
	清水英範 (東京大学)
	瀬戸島政博 (日本測量協会)
	長 幸平 (東海測量大学)
	津留宏介 (日本測量協会)
	藤野千和子 (日本写真測量学会)
	布施孝志 (東京大学)
	政春尋志 (国土地理院)
	望月貫一郎 ((株)パスコ)
	吉野邦彦 (筑波大学)
	力丸 厚 (長岡技術科学大学)

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧下さい。

<http://www.jsprs.jp>

E-mail: office-jsprs@jsprs.jp